

アレンピックと香水瓶の静物
エンカウスティック 22.8×27.3cm 2011



ヴェロニカの布（聖額布）を知っているだろうか。十字架を担ってゴルゴタの丘へ向かう途中のイエスの額の汗を聖女ヴェロニカが拭った亜麻布にその後、イエスの生前の顔が現れたと云うものです。それは濡れ色に現れた神の似姿であり、私の描く対象もまたその対象の似姿として蜜蝋の濡れ色となって亜麻布に現れるのです。これは私が改良した古代の絵画技術によるもので、ここで私は色を使わないため融けた蜜蝋はまず濡れ色として現れるのです。私がブレバレを施さない亜麻布にこの絵画術で描くのは、描かれた対象の本質（或は神秘と呼ばれるもの）がヴェロニカの布のそれと同様にそこに宿るように思うからです。この絵画技術はエンカウスティックと呼ばれ、二千年前にはミイラの肖像を描く為に使われていましたが、当時は私の使い方とは異なって顔料が混ぜられた所謂蠟絵の具でした。中世には既に失われその名のみ文献に見る伝承の途絶えた技法です。亜麻布に濡れ色に浮かび上がる対象にはその存在を認識するために僅かの絵具が使われるが、それはただ息のように薄いだけです。うまくいけばそこには濡れ色を透かした死んだ子供の皮膚のように美しいオプティカルグレーと呼ばれる灰死色が現れるのです。

※ エンカウスティック（Enkaustik: 蝋）とは蜜蝋に顔料を混ぜ熱で溶かしながら描く古代の絵画技術、或はそれで描かれた絵画の呼称であり、紀元2世紀にはエジプトのファイユームで棺に描かれたミイラの生前の肖像が発見されている。ファイユームが当時は既にローマの植民地であった事を思惟すると、エンカウスティック技法の来歴は古代ローマかギリシャだろうと考えられる。


赤木範陸 

赤木範陸 Akagi Norimichi



- 1988 東京藝術大学美術学部油画科卒業、同大学院
油画技法材料研究室に入学
- 大学院在学中にミュンヘン国立藝術大学に合格
- 1990 東京藝術大学大学院博士前期課程技法材料研
究室修了、89年より在籍していたミュンヘン
国立藝術大学教会美術研究室に於ける研究の
ため渡独、翌年 DAAD（ドイツ学術交流会）
より国費留学生として給費を受ける。
- 1995 ミュンヘン国立藝術大学教会美術研究室満期修了
ディプロム修士取得（Diplom M.A.）、
マイスターシューラー（Meisterschüler）の称号授与

- 美術館企画 個展
- 1991 倉市院美術館
- 2001 ドイフ、ランツフート首庁会ギャラリー
- 2001 大分市美術館
- 2002 朝倉文夫記念美術館
- 2012 MOU 尾道市立大学美術館
- 美術館企画 合同展
- 2005 日韓現代美術展（福岡アジア美術館、
ソウル世宗美術館）
- 2007 自画像の証言（東京藝術大学美術館）


赤木範陸展

Akagi Norimichi Exhibition

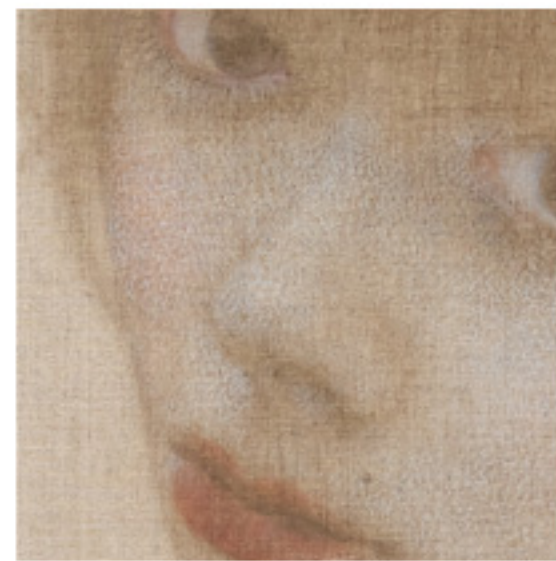
濡れ色の神秘 - ENKAUSTIK



船橋島
エンカウステイク 45.5×38.0cm 2010



広間の残像エンカウステイク 91.0×72.7cm 2011



広間の残像(部分)



白狐嫁道園 エンカウステイク 31.8×41.9cm 2012



寒山拾得菩薩ニ笑フ エンカウステイク 53.0×53.0cm 2010



横浜人形
エンカウステイク 60.4×50.8cm 2011



受胎告知の広間 エンカウステイク 91.8×116.7 2010



風に似た女性像 エンカウステイク 45.5×38.0cm 2009



アレンピックとフラスコの静物 テンペラ・線彩 53.0×65.2cm 2011



アレンピックと香水瓶の静物（部分）



風に似た女性像（部分）